

【ポンプ場設計作業項目内訳表】《構想設計》

作業項目	作業内容	作業実施欄	
		当初	変更
1 準備作業 1-1 現地調査	機場予定地点及びその周辺の地形、地質、現況諸施設について、構想設計のために必要な現地調査を行う。		
1-2 資料の検討	構想設計のため貸与資料を整理、把握し、作業計画を樹立する。		
2 設計計画 2-1 比較検討	事例又は経験に基づき、ポンプ原動機の機種、台数、口径、機場位置、形式、基礎工の比較検討を行う。		
2-2 ポンプ及び 附帯設備機場規模の検討	機場諸施設の配置、規模の概略を検討する。【ポンプ及び附帯機器は基本設計のみとし、設備設計は含まない。】		
3 概算工事費積算	主要工事数量と、事例等による単価で、概算工事費を算定する。		
4 照査	照査計画に基づき、業務の節目毎に照査を実施し、照査報告書の作成を行う。		
5 点検取りまとめ	各設計項目の成果物の点検、取りまとめ及び報告書の作成を行う。		

【ポンプ場設計作業項目内訳表】《基本設計》

作業項目	作業内容	作業実施欄	
		当初	変更
1 準備作業 1-1 現地調査	機場予定地点及びその周辺の地形、地質、現況諸施設について、基本設計のために必要な現地調査を行う。		
1-2 資料の検討	基本設計のため貸与資料を整理、把握し、作業計画を樹立する。		
2 設計計画 2-1 比較検討	概略の調査資料に基づき、ポンプ原動機の機種、台数、口径、機場位置、形式、基礎工の概定比較を行う。		
2-2 ポンプ及び 附帯設備機場規模の検討	機場諸施設の配置、規模を概定する。		
3 水理計算 3-1 揚程、キャピテーションの検討	揚程、キャピテーションの計算を行う。		
3-2 ウォータハンマの検討	ウォータハンマの計算を行う。		
3-3 サージングの検討	サージングの計算を行う。		
4 機場工の設計	【機場外の取水設備、送水設備、水路は含まない。ポンプ、ゲート等の機器設備設計は含まない。機場本体と吸水槽が一体的な構造の場合機場本体は吸水槽に含む。】		
4-1 吸水槽	主要寸法を概定する。部材断面を求める安定構造、配筋計算は含まない。		
4-2 吐水槽	主要寸法を概定する。部材断面を求める安定構造、配筋計算は含まない。		
4-3 沈砂池	主要寸法を概定する。部材断面を求める安定構造、配筋計算は含まない。		
4-4 機場本体	主要寸法を概定する。部材断面を求める安定構造、配筋計算は含まない。		
4-5 設計図作成・数量計算	一般構造図を作成し、概略数量計算を行う。		
5 樋門、樋管工の設計 5-1 躯体工	【本歩掛は、機場工に附帯して設置する場合なので、単独構造物の場合は適用できない。】		
	主要寸法を概定する。部材断面を求める安定構造、配筋計算は含まない。【基礎工は杭基礎を標準とし、ゲート等の機器設備設計は含まない。】		
5-2 門柱	主要寸法を概定する。部材断面を求める安定構造、配筋計算は含まない。		
5-3 胸壁、翼壁、水叩き	主要寸法を概定する。部材断面を求める安定構造、配筋計算は含まない。		
5-4 操作室、管理橋	主要寸法を概定する。部材断面を求める構造配筋計算は含まない。		
5-5 水門扉	主要寸法を概定する。構造計算は含まない。		
5-6 設計図作成・数量計算	一般構造図を作成し、概略数量計算を行う。		
6 建屋の設計	【操作室、機場上屋以外に設けられる管理棟、管理人宿舍棟の設計は含まない。】		
6-1 建物	主要ポンプ及び附帯設備を収容し得る平面及び高さを決定し平面縦断計画を行う。構造計算、設備設計は含まない。		
7 護岸工の設計	護岸タイプと範囲を、標準断面図に明示し、概略数量計算を行う。【取付護岸に限る。既設構造物の撤去に関する設計は含まない。】		
8 土工計画	標準断面図による概略数量計算を行う。【取付道路は含まない。】		
9 仮締切堤設計	締切のタイプと範囲を標準断面図に明示し、概略数量計算を行う。		
10 山留工設計	山留タイプと範囲を標準断面図に明示し、概略数量計算を行う。		
11 概算工事費積算	主要工事数量と、事例等による単価で、概算工事費を算定する。		
12 照査	照査計画に基づき、業務の節目毎に照査を実施し、照査報告書の作成を行う。		
13 点検取りまとめ	各設計項目の成果物の点検、取りまとめ及び報告書の作成を行う。		

【ポンプ場設計作業項目内訳表】《実施設計》

作業項目	作業内容	作業実施欄	
		当初	変更
1 準備作業			
1-1 現地調査	機場予定地点及びその周辺の地形、地質、現況諸施設について、実施設計のために必要な現地調査を行う。【旅行日を含まない（旅費は別途計上）。】		
1-2 資料の検討	実施設計のため貸与資料を整理、把握し、作業計画を樹立する。		
2 設計計画			
2-1 比較検討	詳細の調査資料に基づき、ポンプ原動機の機種、台数、口径、機場位置、形式、基礎工の詳細比較を行う。		
2-2 ポンプ及び 附帯設備機場規模の検討	ポンプ主要機器の選定配置、機場規模の基本的事項を決定する。		
3 水理計算			
3-1 揚程、キャパシテーションの検討	揚程、キャパシテーションの計算を行う。【水理計算の項目は必要に応じて計上する。】		
3-2 ウォータハンマの検討	ウォータハンマの計算を行う。		
3-3 サージングの検討	サージングの計算を行う。		
4 機場工の設計	【機場外の取水設備、送水設備、水路は含まない。ポンプ、ゲート等の機器設備設計は含まない。機場本体と吸水槽が一体的な構造の場合機場本体は吸水槽を含む。】		
4-1 吸水槽	安定構造、配筋計算を行う。		
4-2 吐水槽	基礎工、安定構造、配筋計算を行う。		
4-3 沈砂池	基礎工、安定構造、配筋計算を行う。		
4-4 機場本体	基礎工、安定構造、配筋計算を行う。【機場本体が独立した構造の場合に適用する。】		
4-5 設計図作成・数量計算	一般構造図、構造詳細図、配筋図を作成し、詳細数量計算を行う。		
5 樋門、樋管工の設計	【本歩掛は、機場工に附帯して設置する場合なので、単独構造物の場合は適用できない。】		
5-1 躯体工	安定構造、配筋計算を行う。【ゲート等の機器設備設計を含まない。】		
5-2 門柱	安定構造、配筋計算を行う。		
5-3 胸壁、翼壁、水叩き	安定構造、配筋計算を行う。		
5-4 操作室、管理橋	構造配筋計算を行う。		
5-5 水門扉	構造計算を行う。		
5-6 設計図作成・数量計算	一般構造図、構造詳細図、配筋図を作成し、詳細数量計算を行う。		
6 建屋の設計	【操作室、機場上屋以外に設けられる管理棟、管理人宿舎棟の設計は含まない。】		
6-1 建物	設計計画、構造計算、設備設計、特別仕様書を作成する。		
6-2 設計図作成・数量計算	立面図、正面図、側面図、矩計図、平面図、その他詳細図を作成し、数量計算を行う。		
7 護岸工の設計	矢板護岸の安定構造計算、構造図を作成し、数量計算を行う。【取付護岸に限る。既設構造物の撤去に関する設計は含まない。】		
8 土工計画	土工図を作成し、数量計算を行う。【取付道路は含まない。】		
9 仮締切堤設計	安定構造計算、構造図作成、数量計算を行う。		
10 山留工設計	安定構造計算、構造図作成、数量計算を行う。		
11 施工計画の検討	工程計画、施工方法等の骨子を作成する。		
12 特別仕様書	主要な工事の特別仕様書を作成する。		
13 概算工事費積算	主要工種の単価表を作成し、概算工事費を算定する。		
14 照査	照査計画に基づき、業務の節目毎に照査を実施し、照査報告書の作成を行う。		
15 点検取りまとめ	各設計項目の成果物の点検、取りまとめ及び報告書の作成を行う。		